

【 第52回熊本大学定例学長記者懇談会 】

日 時：令和7年1月14日（水）14：00～15：00（予定）

場 所：本部棟1階 大会議室

本学出席者：熊本大学長 小川 久雄

理事（研究・グローバル戦略、产学連携担当） 大谷 順

理事（広報・ブランディング・行政連携担当） 宮尾 千加子

内 容：

1. 熊本大学・鹿児島大学・新日本科学との三者間協力協定について（資料1-1、1-2）

大学院生命科学研究部 薬学教育部長 香月 博志

大学院生命科学研究部 教授 本山 敬一

2. 熊本大学文学部附属国際マンガ学教育研究センターの取り組みについて（資料2-1、2-2）

国際マンガ学教育研究センター 准教授 池川 佳宏

3. 熊助組によるクラウドファンディングの実施について（資料3-1、3-2）

工学部3年 國方 美月（熊助組代表）

工学部3年 石留 幸奈（熊助組副代表）

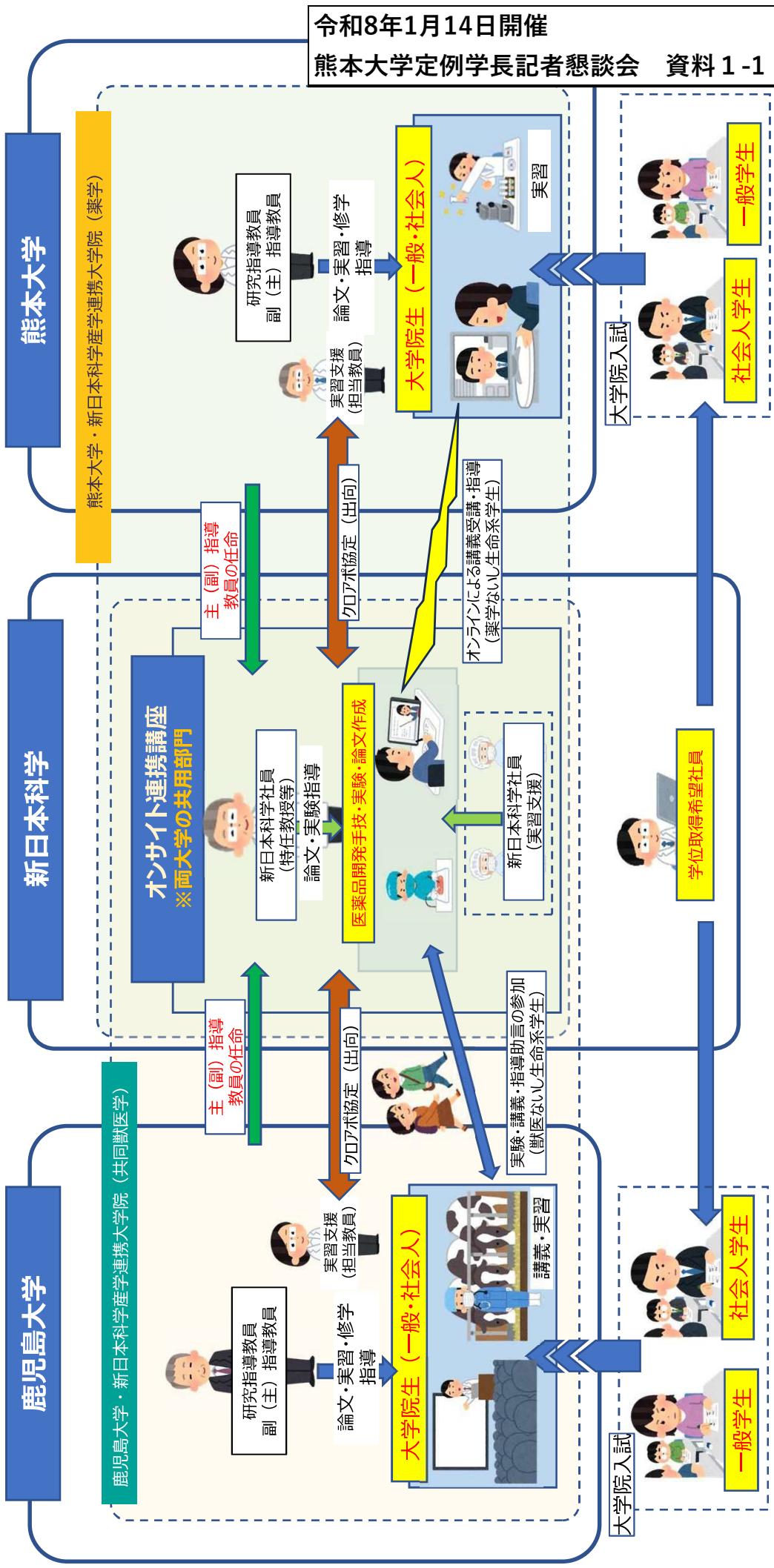
4. 国際クラスの選考結果について（資料4）

教育系事務担当部 人社・教育系事務課長 岸 良一

5. その他

国立大学法人＆新日本科学「産学連携大学院」構想 ～オンラインサイト連携講座制度について～

- ・従前の「連携大学院制度」を活用し、熊本大、鹿児島大それが（株）新日本科学と連携協定を締結。（株）新日本科学に設置する「オンラインサイト連携講座」は、関係大学内にある太学院の既存の研究分野（講座）の一部と整理。講座の活動を支援していくだけでなく同社の社員の方には称号を付与することができるほか、各大学が定める基準を満たす場合は学生の博士論文指導が行える「主指導教員」等を命ずることができる





産業界へのお願い

MESSAGE

経済団体・業界団体の長に対し、博士人材の活躍促進に向けた協力についてお願ひします。

※引当式文書による選択

経済団体・業界団体等の長 殿

博士人材の活躍促進に向けた企業の協力等に関するお願ひについて

博士人材は高い専門性や国際性、課題設定・解決能力などの汎用的能力を備えた高度専門人材であり、イノベーション創出にも貢献することができます。文部科学省においては、博士人材の強み・魅力を可視化し、社会の多様なフィールドで一層活躍を後押しするための取組を実施しているところです。

一方、現状では、博士課程修了者の進路として大学教員等のアカデミア志向が強い傾向があり、また、産業界においては博士人材の意識されています。そこで、文部科学省は、大学院教育改革の推進、博士後期課程修了者の進路として大学教員等のアカデミア志向が強い傾向があります。そこで、文部科学省においては、大学院教育改革への経済的支援やキャリアパスの多様化推進に着実に取り組んでまいります。加えて、「博士人材の活躍促進に向けた企業の協力をに関するお願ひ」をまとめましたので、以下の重願について会員企業をはじめとした企業の皆様に周知していただきとともに、御協力ををお願い申し上げます。

1. 博士人材の採用拡大・待遇改善
2. 博士人材の採用プロセスにおける海外留学経験の評価配進
3. 博士後期課程修了生を対象としたインターネット登録の推進
4. 博士人材の雇用に伴う法人税等の税額控除制度の活用促進
5. 授学生金の企業等による代理返還制度の活用促進
6. 従業員の博士号取得支援
7. 企業で活躍する博士人材のロールモデルの選定と情報提供

博士人材の活躍を促進し、ひいては我が国の経済、社会の持続的発展を叶えるために、文部科学省として、企業の皆様と連携しながら、着実に施策を実行してまいります。御理解・御協力くださいますようお願い申し上げます。

文部科学大臣 盛山正仁

令和6年3月26日

令和8年1月14日開催
熊本大学定例学長記者懇談会 資料1-2



盛山正仁
博士 (医学)、修士 (医学)

文部科学省も大学関係者・
産業界の皆さんと共に取り組
んでまいります。
博士が日本社会を変える
ムーブメントと一緒に起こし
ていきましょう。

令和6年3月26日

文部科学省
●

1 文部科学大臣メッセージ

MESSAGE

博士人材は、新たな知を創造し、社会にイノベーションをもたらすことができる重要な存在です。海外では社会の様々な分野で活躍しており、我が国においてもその重要性と期待は非常に高まっています。博士を目指す方が安心して学修できる環境を整え、高い専門性と汎用的能力を有する人材として生き生きと活躍することを後押ししたい。この思いから、「博士人材活躍プラン～博士をどう～」を取りまとめました。

文部科学省は博士を目指す学生を全力で支援してまいります。

博士人材は、多くの博士課程学生が、より一層安心して研究に打ち込める環境を実現することを約束します。ぜひともじっくりと腰を据えて、思う存分研究に打ち込んでください。研究により得られる真理を深く探究する経験や、新たな価値を世界に問う経験は、将来様々なフィールドで活躍するための大きな力となります。

大学関係者の皆さん、かつて博士人材は大学の研究者となることが有力な進路とされてきましたが、博士人材の高度な専門性や幅広い能力を多様な場で発揮できるよう、大学院教育の充実や進路の拡大に向けた支援など、大学院改革の取組を進めさせていただきますようお願いします。

博士人材活躍プラン～博士をとろう～

summary



2 意義・目的

PURPOSE

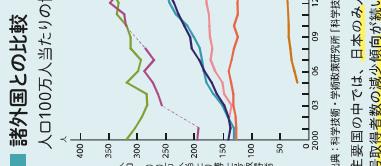
博士人材は、深い専門知識と、課題発見・解決能力などの実用的能力に基づき、新たな知見を創造し、活用することで、社会の変革、学術の発展、国際的ネットワークの構築を主導し、社会全般の成長、発展をけん引することができる存在である。今後、「社会がより高度化かつ複雑化する中、大学教育において博士人材が必要な力を身に付けるようになるとともに、社会全体で学生一人一人の自由な発想と挑戦を支え、博士の学位の価値を共有しながら、国内外の様々な場で活躍できる環境を構築することによって、博士人材の増加を図らざるを得ない」として、労働人口に占める大学院修了者比率と労働生産性には正の相関がある。

3 目指す姿

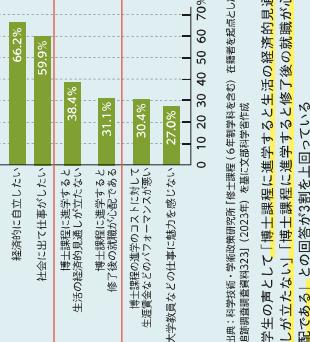
VISION

4 解決すべき課題・現状

ISSUE



■ 博士課程進学ではなく就職を選んだ理由



博士人材が、アカデミアのみならず、多様なフィールドで活躍する社会の実現

5 取組の方針

POLICY

- 産業界等と連携し、博士人材の幅広いキャリアパス開拓を推進
- 教育の質保証や国際化の推進などにより大学院教育を充実
- 博士課程学生が安心して研究に打ち込める環境を実現
- 初等中等教育から高等教育段階まで、博士課程進学へのモチベーションを高める取組を切れ目なく実施

6 具体的取組

PLAN

社会における博士人材の多様なキャリアパスの構築

- より実践的で多様なキャリアにつながるインターンシップの推進やキャリア開発・育成コンセンサスの提供、民間企業・大学等向けの手引きの作成、スタートアップ創出支援・人材供給など、関係省庁と連携して、産業界での活躍を促進
- アカデミアに加え、国際機関、中央省庁、地方自治体などの公的機関、学校教員、リサーチ・アドミニストレーター（IURA）など、博士人材の社会の様々な分野での活躍に向けた取組を実施

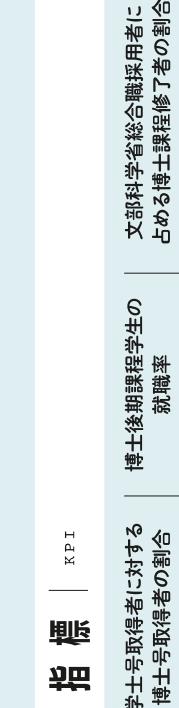
7 文部科学省からはじめます

START

学生本人への動機づけ

- 「未来の博士フェス」やロールモデルのPR等を通じて、博士人材として社会で活躍する魅力を発信
- 初等中等教育段階での探究学習やキャリア教育の充実、学部等の海外研さん・留学機会の充実
- 優秀な博士課程学生への支援

→ 文部科学省の取組を各省庁へ横展開



博士課程進学ではなく就職を選んだ理由



博士課程進学ではなく就職を選んだ理由



大目標

2040年ににおける人口100万人当たりの博士号取得者数を世界トップレベルに引き上げる（2020年度比約3倍）

8 指標

KPI

文部科学省総合職採用者に占める博士課程修了者の割合



文部科学省総合職採用者に占める博士課程修了者の割合



令和8年1月 定例学長記者懇談会資料

熊本大学 文学部附属 国際マンガ学教育研究センターの取り組み

- ## ■ 地域活性化活動・メディア登場の活動報告 ■ 今後の活動告知と周知お願い

熊本大学 文学部附属
国際マンガ学教育研究センター 兼務教員
池川佳宏 准教授

①文化庁メディア芸術カレントコンテンツでの マンガ学センターの取り組みの取材記事公開

(池川佳宏准教授)



「マンガと地域おこし 第7回 産官学のトライアングルが完成
熊本大学文学部附属国際マンガ学教育研究センター」

<https://macc.bunka.go.jp/6590/>

→ 熊大の産官学連携推進施策への全国的評価

あやかし

②人吉市「CHOBIT 妖 漫画館」の開館協力 (鈴木寛之准教授)

- (文学部)現代文化資源学コースの学生が地域と協力し、マンガ雑誌や妖怪作品単行本を設置
- 「夏目友人帳」聖地巡礼企画のサポート
- 全国ニュースとして配信



「人吉まちづくりデザイン会議」より

③文芸批評誌『ユリイカ』(2026年1月号)

「アリ・スター特集」の作品解題をセンター教員と
現代文化資源学コースの院生が担当 (伊藤弘子教授)

→継続的なマスコミ・業界誌との連携



青土社
『ユリイカ』
2026年1月号

今後の活動告知

■熊本県の移住促進企画「ラブくまプロジェクト」

(主催: 熊本県 企画振興部 地域振興・世界遺産推進局 地域振興課)

が実施する「ラブくま交流会」(会場:大阪市)にて、1/25(日)に天草在住漫画家高浜寛さんと池川佳宏准教授が、マンガと熊本の魅力を語る「熊本×漫画」トークイベントを開催
→ 詳細は配布のチラシをご覧ください

高浜寛…「ニュクスの角灯」で2020年手塚治虫マンガ文化賞の大賞受賞歴史作品得意とし、天草キリストン館の展示企画にも参画



■2/16に発売される、矢口高雄『激濤』

(山と溪谷社発行)の作品解説を池川佳宏

准教授が担当

→センター資料を駆使して作品解説を執筆

「くまもとマンガ協議会」活動の周知お願い

■熊本大学と熊本日日新聞社は、
熊本県のバックアップのもと、
「くまもとマンガ協議会」を
立ち上げて活動をしています。

★イベント開催や在住クリエイター支援のほか「マンガ刊本」を使った「地域活性化」を進めています。→チラシ参照 (資料2-2)

熊本県でマンガ雑誌・単行本(刊本)を活用した地域活性化事例

- ・合志マンガミュージアムの開設
- ・人吉市(くまりば・妖漫画館)
- ・宇城市eeeルームうきのば
- ・南阿蘇市複合施設 LOOPみなみあそ

くまもとマンガ協議会

このようなニーズはありませんか?

地域活性化を
マンガ本で
お手伝いします

Q マンガ本で地域活性化には
どんな実例がありますか?

小規模 前 熊本県内の書店や公民館、観光地のスペースに自由に開設可の数百~数千冊のマンガ単行本を設置しました。「人吉市くまりば」「宇城市eeeルームうきのば」「南阿蘇村複合施設 LOOPみなみあそ」「上辻田見自治会」など

Q 何をお手伝いしてもらえますか?

県内から集まったマンガの単行本の数万冊から、各施設に合ったマンガ単行本を寄贈や貸与できます。集客のための貴重本(展示用博物資料)の寄託も可能です。

Q どんなマンガがありますか?

少年・少女向けマンガや大人・青年向け社会派マンガ、地域出身の作者や地域にまつわるマンガなど、年代やジャンルを問わずスペースの用途にあわせて選択できます。内容の相談も承ります。

Q どんな負担が必要ですか?

スペースと本棚があればOKです。寄贈本は本棚管理も不要です。

お問い合わせ:くまもとマンガ協議会
<https://kumamoto-manga-kyougikai.com/>

このようなニーズはありませんか？

- 地域コミュニティの場を安価に
つくりたい（小規模～大規模）
- 集客施設に、人が滞留する場所をつくりたい
- 子育て支援、小中高生のための
スペースをつくりたい
- 図書館施設にプラスしたコーナー
をつくりたい

地域活性化 を
マンガ本  で
お手伝いします

※「くまもとマンガ協議会」とは

熊本県「マンガ県くまもと」方針のもと、熊本大学 + 熊本日日新聞社を中心に熊本市・合志市・湯前町などの多数の自治体・銀行・NPO・民間団体含め60以上の団体で構成。地域と連携したマンガの活用と保存をKMMネットワークとして構想。

**Q マンガ本での地域活性化には
どんな実例がありますか？**

小規模例 熊本県内の図書館や公民館、観光地のスペースに自由に閲覧可の数百～数千冊のマンガ単行本を設置しました。
「人吉市くまりば」「宇城市eeeルームうきのば」「南阿蘇村複合施設LOOPみんなみあそ」「上辺田見自治会」など

大規模例 合志マンガミュージアム・湯前まんが美術館など
(マンガ閲覧・マンガ原画展示施設)

Q どんなマンガがありますか？

少年・少女向けマンガや大人・青年向け社会派マンガ、地域出身の作者や地域にまつわるマンガなど、年代やジャンルを問わずスペースの用途にあわせて選択できます。
内容の相談も承ります。

Q 何をお手伝いしてもらえますか？

県内から集まったマンガの単行本の数万冊プールから、各施設に合ったマンガ単行本を寄贈や貸与できます。
集客のための貴重本(展示用博物資料)の寄託も可能です。



Q どんな負担が必要ですか？

スペースと本棚があればOKです。寄贈本は本棚管理も不要です。



お問い合わせ：くまもとマンガ協議会

<https://kumamtomangakyogikai.com/>



工学部公認サークル 学生災害復旧支援団体

くますけぐみ

熊助組



クラファン
実施します！



熊助組って？



2007年に工学部の学生
によって創立された
ボランティアサークルです

今までに行った 主な災害支援活動

- 2007年 美里町豪雨災害
- 2012年 九州北部豪雨災害
- 2016年 熊本地震
- 2020年 令和2年7月豪雨災害
- 2025年 令和7年8月豪雨災害



小学生や親子向けワークショップ
災害支援活動の経験や定例会で学んだことをもとに、平常時の備えや非常時の避難について楽しく学んでもらえるよう企画しています！

外部依頼・熊大文化祭での 防災教室





令和2年7月豪雨
で被災した人吉市

浸水した際の水位が
記された電柱を見
ている様子



KIOKU

被災地訪問ツアーミニ

全国の災害復旧支援団体 の方との交流ミニ



信州大学
KIDOU



ぼうさいこくたい
新潟



なぜクラファンをするのか？



2027年
～創立20周年
にむけて～

全国の
災害復旧
支援

人材育成

被災地
との
つながり

他団体
との
交流

未来へ
「たすけあい」
を繋ぐために。

募集期間

1月13日～5月11日

目標金額

250万円

instagram



Facebook



HP



ご支援お願いします！

未来へ「たすけあい」を繋ぐために。 ご支援をお願いします！



令和8年1月14日開催
熊本大学定例学長記者懇談会 資料3-2

募集期間：2026年1月13日(火)～5月11日(月)

工学部公認サークル 学生災害復旧支援団体

「熊助組」



熊助組は、2027年に20周年を迎えます！

私たち学生災害復旧支援団体「熊助組(くますけぐみ)」は、2007年から学生が主体となり、被災地での復旧・復興支援活動を続け、2027年には20周年を迎えます。瓦礫撤去から心のケアまで、学生ならではの情熱と行動力で多くの被災地に寄り添い、地域と未来を繋ぐ活動をしてきました。

学生の力で未来を守る！
その想いを継承するために！

しかし、長年の活動で安全な活動をするための保険料、資機材の維持費、被災地への交通費といった運営資金の確保が困難に。このままでは活動継続や安全確保、次世代の育成が危ぶまれています。



先輩たちが背中で示してきた熱い想いを未来のメンバーへつなぎ、さらに被災地へ届けていきたいと考えています。
未来的防災・減災を担う人材を育て、被災地に寄り添う支援が続けられるよう、皆様の温かいご支援を、心よりお願い申し上げます。



ご支援のお申込み詳細は裏面をご覧ください



【プロジェクトに関するお問い合わせ】
熊本大学工学部公認サークル 学生災害復旧支援団体「熊助組」
Tel : 096-342-3268 (平日9:00~17:00)
Mail : kumasukegumi@kumamoto-u.ac.jp



【ご支援手続きに関するお問い合わせ】
株式会社グローカル・クラウドファンディング
Tel : 096-201-1851
Mail : info@glocal-cf.com

コースの選択について

以下のコースよりご選択ください

コース		支援金額	リターン内容
A	寄附3,000円コース	3,000円	・寄附金領収書 　・お礼のメール
B	寄附5,000円コース	5,000円	・寄附金領収書 　・お礼のメール 　・「熊助組」オリジナルステッカー（2026年7月末までに送付）
C	寄附10,000円コース	10,000円	・寄附金領収書 　・お礼のメール
D	寄附30,000円コース	30,000円	・「熊助組」オリジナルステッカー（2026年7月末までに送付） ・20周年記念冊子（2027年度内送付）
E	寄附50,000円コース	50,000円	・20周年記念冊子へのお名前掲載（希望者のみ）
F	寄附100,000円コース	100,000円	・寄附金領収書 　・お礼のメール
G	寄附300,000円コース	300,000円	・「熊助組」オリジナルステッカー（2026年7月末までに送付） ・20周年記念冊子（2027年度内送付）・20周年記念冊子へのお名前掲載（希望者のみ）
H	寄附500,000円コース	500,000円	・「熊助組」防災教室の開催（希望者のみ/2028年12月までに実施）
I	寄附1,000,000円コース	1,000,000円	・寄附金領収書 　・お礼のメール 　・「熊助組」オリジナルステッcker（2026年7月末までに送付） ・20周年記念冊子（2027年度内送付）・20周年記念冊子へのお名前掲載（希望者のみ） ・「熊助組」防災教室の開催（希望者のみ/2028年12月までに実施）・感謝状贈呈（2027年度内実施）

*本プロジェクトへのご寄附は、熊本大学への寄附として税制上の優遇措置が適用されます。※寄附された方には、寄附金受領後、熊本大学より「寄附金領収書」を発行いたします。※寄附金領収書は、2026年6月頃に発行し、お手元に届くのは2026年7月末までを予定しております。※冊子への「お名前掲載」を含むコースは、下記申込欄に掲載を希望する・しないを表明いただき、掲載するお名前（任意のニックネームも可）をご記入ください。※20周年記念事業等の状況により、スケジュールは前後する可能性があります。変更がある場合は、活動報告等を通じて随時ご報告いたします。※詳しくは専用サイトをご覧ください。

お申込みについて

ご支援方法は①または②よりご選択ください

専用サイトからお申込み

右記の二次元コードよりお申込みください。

専用サイトからお申込みいただき、クレジットカード又はお振込によるお手続きをお願いします。

URL : <https://www.glocal-cf.com/project/kumasukegumi>



申込用紙からお申込み（専用サイトでのお申込みが難しい方）

下記のお申込み欄に必要事項をご記入ください。

②

- ご記入後、申込用紙を事務局へご提出ください。（郵送・FAX・メール等）
※お申込み情報を事務局にて登録させていただきます。
※メールアドレスを記載いただいた場合は、お申込み内容と入金確認のメールが届きます。
- 下記口座へお振込をお願いいたします。
お振込先：肥後銀行 本店営業部 普通預金 2574025
口座名義：株式会社グローカル・クラウドファンディング

【申込書類提出先】

株式会社グローカル・クラウドファンディング
〒860-0807
熊本県熊本市中央区下通1-9-9
Fax : 096-201-3610
Mail : info@glocal-cf.com

ふりがな			コースと口数 複数のコースのお申込みも可能です	<input type="checkbox"/> コース × <input type="checkbox"/> 件	<input type="checkbox"/> 反戻不要
お名前				<input type="checkbox"/> コース × <input type="checkbox"/> 件	
住所	〒 <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/> - <input type="text"/> <input type="text"/> <input type="text"/>				
メールアドレス	@ <input type="text"/>		電話番号		
応援コメント・備考			お振込額	円	
お名前掲載の方	希望する	・	希望しない	掲載するお名前	

*この度はプロジェクトへのご支援、誠にありがとうございます。※お申込み内容につきましては、ご登録のメールアドレスへ内容確認のメールが届きます。また、今後のプロジェクトに関する案内等でメールを送信させていただきますのでご了承ください。※本用紙にて会員登録ならばに支援をお申込み頂いた方は、会員利用規約（<https://www.glocal-cf.com/terms>）及びプロジェクト支援に関する規約（https://www.glocal-cf.com/terms_project）に同意頂いたものとさせていただきます。規約は専用サイトをご覧ください。

グローカル・クラウドファンディングは、世界中から集めた「意志あるお金」を循環させ、地域の夢の実現に貢献します



令和8年度 附属小学校 入学試験実施状況

R8.1.8

単位：人

国際クラス 【外国人・帰国児童枠】 定員7（各学年）（※）			受験者		合格者		入学手続き者		国際クラス 【一般枠】 定員17		受験者		合格者		一般クラス 定員72		受験者		合格者		国際クラス 転クラス者 最大21（各学年）	
									※併願あり	※併願なし												
1年	11	外国人・帰童10人 帰国児童1人	10	外国人・帰童9人 帰国児童1人	7	外国人・帰童6人 帰国児童1人	7	外国人・帰童6人 帰国児童1人	43	2	45	17	147	145	74							
2年	4	外国人・帰童1人 帰国児童3人	4	外国人・帰童1人 帰国児童3人	4	外国人・帰童1人 帰国児童3人	4	外国人・帰童1人 帰国児童3人	3	外国人・帰童1人 帰国児童2人												
3年	6	外国人・帰童3人 帰国児童3人	6	外国人・帰童3人 帰国児童3人	3	外国人・帰童1人 帰国児童2人	3	外国人・帰童1人 帰国児童2人	3	外国人・帰童1人 帰国児童2人												
4年	5	外国人・帰童3人 帰国児童2人	5	外国人・帰童3人 帰国児童2人	4	外国人・帰童3人 帰国児童1人	4	外国人・帰童3人 帰国児童1人	3	外国人・帰童2人 帰国児童1人												
5年	2	外国人・帰童2人	2	外国人・帰童2人	2	外国人・帰童2人	2	外国人・帰童2人	2	外国人・帰童2人												
6年	1	外国人・帰童1人	1	外国人・帰童1人	1	外国人・帰童1人	1	外国人・帰童1人	1	外国人・帰童1人												

※ 2年生は令和7年度の試行で受け入れた外国人児童が3人へ進級するため、最大4人を受入

令和8年1月14日開催

熊本大学定例学長記者懇談会 資料4

【御礼】110 大学中 7 位 (Giving Campaign 2025)



1. 実施概要

本学では、大学公認サークルの主体的な活動を支援することを目的として、「Giving Campaign2025」を 2025 年 10 月 10 日～10 月 19 日に実施いたしました。学内外の卒業生・保護者・地域の皆さんから、特定の団体を指定してご支援いただく仕組みとし、いただいた寄附金は各団体の活動資金として活用されます。

2. 実施結果

- ・参加団体数： 58 団体（大学公認サークル）
- ・応援投票数： 14,803 票
- ・寄附金額合計：2,363,988 円
- ・順位： 110 大学中 7 位



熊本大学 GC 特設サイト▲

3. 今後の展開

本イベントでは、学生団体と卒業生・地域とのつながりが再確認されるとともに、活動資金調達の新たな手段として浸透しつつあります。今後も、学生の寄附文化醸成、卒業生や地域の方々と学生とのつながりの充実につながるよう、継続的な実施を検討してまいります。



©Takeshi Shiota

熊本大学文書官R7年度企画展 / 水俣病公式確認70年記念

塩田武史写真展

ストーリーズ

フレームからひらく、人びとの物語

期間 2026年2月4日(水)～2月21日(土)

10:00～16:00 (最終入場 15:30)

会場 熊本大学五高記念館

入場無料
申込不要

「その頃は何とも思わなかつたカツトが、
捨てがたいものとして浮かび上がつてきた。
一枚一枚の写真が語りかけてくる」

(僕が写した愛しい水俣 塩田武史、2008年、滋賀、岩波書店)

ギャラリートーク

日時 2月8日(日)14:00～14:30(塩田弘美、香室結美)

会場 熊本大学五高記念館

トークイベント

写真は語る？写真との対話と物語のはじまり

日時 2月8日(日)15:00～17:00

会場 熊本大学文法学部本館1階くまトヨ講義室

主催：熊本大学文書館

後援：熊本県

協力：熊本大学キャンパスミュージアム推進機構、一般社団法人 水俣・写真家の眼、

JSPS科研費基盤研究(A)JP22H00036「21世紀における他者の痛みの交差性」(代表者:慶田勝彦)、

熊本大学大学院人文社会科学研究部附属国際人文社会科学研究センター学際的研究資源アーカイブ領域



どこか故郷に似た水俣を愛し、患者家族とのつきあいを重ね、ようやく人びとにカメラを向けた写真家・塩田武史（1945～2014）。彼はどのような人で、どのようなイメージを残したのでしょうか。

本展では、塩田武史さんが生前公開した写真、遺族である妻・弘美さんや写真家仲間の語り、そしてネガフィルムに収められた未公開写真から、武史さんが生涯大切にした水俣のイメージをみつめます。そこには人びとの日常の表情、土地の暮らしや記憶の細部が映し出されています。

展示は二部構成です。第一室では、塩田武史さんが生前公開した写真を展示します。第二室では、弘美さんと当館が協働して作成したネガフィルム・データベースと未公開写真、弘美さんと共に武史さんのアーカイブづくりを進める「水俣・写真家の眼」の活動を紹介します。



©Takeshi Shiota

トークイベント 入場無料、申込不要

写真は語る？写真との対話と物語のはじまり

日時 2026年2月8日(日)15:00～17:00 受付 14:30～

会場 熊本大学文法学部本館1階くまトヨ講義室

※同日14:00～14:30、五高記念館にてギャラリートークが開催されます。

あわせてご参加ください。

司会 下田健太郎（熊本大学准教授）

15:00 開会挨拶 文書館長 高野博嘉（熊本大学教授）

15:05 塩田弘美・香室結美（熊本大学文書館特任助教）

「水俣の人と風景—塩田武史のまなざしからひらく物語」

15:35 横谷奈歩（九州大学助教・美術家）

「ある美術家による歴史の残し方—小さな声と対話して」

16:05 コメント 真島一郎（東京外国语大学教授・文化人類学）

16:25 休憩

16:30 フロアディスカッション

17:00 閉会挨拶



©Takeshi Shiota

問い合わせ

熊本大学文書館

TEL 096-342-3951

email archives@jimu.kumamoto-u.ac.jp

HP <http://archives.kumamoto-u.ac.jp/>

トークイベントに関するお問い合わせは、

2月6日(金) 15:00までにお願いします。

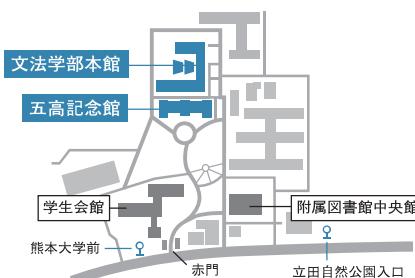


会場

展示・ギャラリートーク 熊本大学五高記念館

トークイベント 文法学部本館1階くまトヨ講義室

熊本市中央区黒髪2丁目40番1号



大学構内の駐車場は有料です。

(1時間超え4時間以内500円/4時間超え24時間以内1000円)

学内の駐車場が不足しておりますので、公共交通機関をご利用ください。



©Takeshi Shiota